

幡豆郡の歴史

古代律令制の三河国の幡豆郡に端を発する。古くは播豆、波豆、芳豆、芳園、者豆、などと表記した。名前の由来は地域内の式内社幡頭（はず）神社に由来するという説や、域内の礒泊（しはと）郷からハト、ハズに転訛したという説、停泊地を意味する「泊（ハク）」が訛ったという説などがある。離島の佐久島（古代名：析嶋）、日間賀島（古代名：比莫嶋）、篠島（古代名：篠嶋）は、旧幡豆郡に属する。現在、旧尾張国の知多郡南知多町に属する日間賀島と篠島は、出土の木簡に多数の表記あり、元々は三河国幡豆郡であったと推測される。篠島・析島からは、佐米楚割（さめのすやわり）と呼ばれる鮫を、日干しにして割いた珍味が朝廷に寄進されていた。

六ツ美南部地域は三方を幡豆郡（現西尾市）に囲まれており、幡豆郡で関係の深い村は、高落、新村、浅井（西側）、羽角、貝吹（東側）、小島、米野、尾花、永良、江原、岡島（南側）などである。





これらの村落の明治期以後の変遷は以下のようになっている。1889年は明治22年である。

1889年直前	1889. 10. 01	1906. 05. 01	1954. 01. 01
西浅井村	川崎村 (かわさき)	三和村 (みわ)	西尾市
東浅井村			
高落村			
新村			
小島村			
米野村	御鍛村 (おくわ)		
江原村			
岡島村			
尾花村			
和気村			
大和田村	吹羽良村 (ふきばら)		
高河原村			
貝吹村			
上羽角村			
下羽角村			
上永良村			
下永良村			

1889 年直前	1889. 10. 01	1932. 09. 01	1954. 08. 10
室村	室場村 (むろば)	室場村	西尾市
駒場村			
花蔵寺村	花明村 (けみょう)		
善明村			
家武村	家武村		
平原村	平原村		

碧海郡六ッ美村南部との関係で、以下の3点がポイントである。

・蘆島五郷（あしじま）五郷は碧海郡誌では、碧海郷、和田郷、ト部郷、中島郷および江原郷から構成されると記載されているが、江原郷の具体的な村名は記載されていない。江原郷は幡豆郡の江原村付近の可能性はあるがこれは事実か？

・「三河国古今城塁地理誌」では、幡豆郡は西尾、浅井村、小島村、八面村、羽角村、中島村などの記載がある。中島村は板倉四郎左衛門、同弾正重定の記載がある。碧海郡は刈谷、浅井村、土井村、中ノ郷村、合敷木村、下和田村、浦辺村などの記載がある。中島村は幡豆郡に組み入れられているがこれは事実か？

・「三河国墳墓記」では、幡豆郡の中に、「板倉氏代々墳墓」の項があり、「中島村長圓寺にあり、中島村は碧海（あおみ）・幡豆（はず）の2郡に属す。南半は幡豆なり。よって（仍て）長圓寺をここに載せる」とある。中島村は碧海（あおみ）・幡豆（はず）の2郡に属すとあるがこれは事実か？

以下は「愛知県幡豆郡誌」の記載を引用している。

・1640（寛永17：江戸時代）年の三河國石高帳に記載されている村名は124カ村で六ッ美地区と関係する村名は以下のものである。

六粟、野場、野崎、南永井、羽角、浅井、小島、江原、脇、大和田、貝福、長良、駒場、牟呂、善明、江竹、平原、嵩見（すうみ）・・・

・1701（元禄14：江戸時代）年の三河國村附に記載されている村名はほぼ同じであるが、現在の三和村の地名中、高落、高河原、尾花、米野、岡島の5カ村が追加されている。高落は碧海郡であったが、矢作川の改修で幡豆郡に組み替えられた。高河原、尾花、米野、岡島の4カ村は矢作川流域の最低部にあり、野場の菱池より連なる永良長池、小蘭池などの沼澤地で村落が形成されなかったが、矢作川の改修で元禄の頃より開拓された。

・1740（元文5：江戸時代）年頃に佐野知堯（さの ともたか）が表した「三河國二葉松」（みかわのくにふたばのまつ）には以下のような村落が記載されている。

六粟、野場、野崎、南永井、（羽角）、浅井、小島、高川原、江原、脇村、大和田、貝福（貝吹）、永良（長良）、駒場、室村（牟呂）、善明、江竹（家武）、平原、米野、小島、須美（嵩見）・・・

・1790（寛政2：江戸時代）年頃に本間長玄（ほんま ちょうげん）が表した「三河堤」（みかわづつみ）の第5巻（幡豆郡）には以下のような村落が記載されている。総村数は102カ村で、西吉良、上吉良、中吉良、東吉良の4つに分かれている（貝福の記載はない）。

上吉良：小島、高落、米野、尾花、長良、岡島、江原、脇村、大和田、高河原

東吉良：室、善明、貝吹、羽角、野場、駒場、家竹、平原・・・

・1640（寛永17：江戸時代）年の幡豆郡領主の主なもの、西尾（本田下總守）、岡崎（本多伊勢守）、吉良上野介、板倉内膳正・・・となっている。

西尾：西尾町廻、小島村、一色村、菱池村、平坂村、八ッ面村・・・

板倉主水：六粟村、江原村、脇村、大和田村、貝福（貝吹）村、長良（永良）村、

駒場（駒場）村、牟呂（室）村、江竹（家武）村、平原村、嵩見（須美）村

岡崎：野場村、野崎村、南永井村、羽角村、浅井村

板倉家は重定、好重、勝重、重昌（内膳正）、重矩・・・の家系であり、中島村の領主でもあり、中島村の南に位置する幡豆郡の村々（板倉重昌陣屋：貝吹村）を統治していた。その後、板倉家の国替えがあり、一部の村は中島村と同様に小笠原氏の領地（陣屋：中島村）になった。貝吹村には板倉家の菩提寺である万燈山長圓寺があり、明治期まで貝吹村は板倉家の所領であった。

巻頭の3つの疑問点に直接関連する記載はない。

本項は以下の資料を引用している。

[愛知県幡豆郡誌]

発行所：愛知県郷土資料刊行会

発行者：生田良雄

発行日：昭和56年3月27日復刻

原著：愛知県幡豆郡誌

発行者：幡豆郡役所

印刷所：うしほ印刷所

発行日：1923（大正12）年6月